

令和7年度第1回大阪府立博物館等指定管理者評価委員会 議事録

日 時：令和7年7月15日（火） 10:00～12:00

場 所：大阪府立近つ飛鳥博物館 2階会議室（オンライン併用）

出席者： 南委員長、羽森委員、福光委員、川喜多委員（オンライン）

（事務局）大阪府教育庁文化財保護課

（指定管理者）AKN 共同事業体

<開 会>

事務局より委員会成立を報告。

（出席委員4名、規則の定める定足数である委員5名の過半数を満たした。）

欠席委員には事前に今回の資料、評価表案を確認していただき、内容について特に異存がなかった旨を報告。

<議 事>

1. 評価項目及び評価基準にかかる指標の設定について

（1）弥生文化博物館のⅠ及びⅡ

（2）近つ飛鳥博物館のⅠ及びⅡ

事務局より評価票（案）について、議事（1）～（2）を通して説明。

（意見等）

羽森委員：弥生文化博物館と近つ飛鳥博物館が今年度休館する理由はなにか。

事務局：弥生文化博物館は解説パネルの多言語化対応のための入れ替え工事を実施するために休館する。近つ飛鳥博物館は解説パネルの多言語化対応のための入れ替え工事や特定天井改修工事など設備の改修工事のために休館する。

南委員長：休館とは一部を閉室することを指すのか、または完全休館とするか。

事務局：近つ飛鳥博物館は令和7年8月から令和8年3月まで常設展示室と特別展示室に限り閉室し、令和8年11月から12月までは完全休館とする。弥生文化博物館は令和8年1月後半から3月まで、特別展示室以外の展示室に限り閉室する。

福光委員：弥生文化博物館及び近つ飛鳥博物館のⅠ（3）「利用者満足度調査の結果」の目標値について、昨年度11月時点の実績は弥生文化博物館が98%、近つ飛鳥博物館が91%であった。対して本年度の目標を85%とした理由はなにか。

指定管理者：昨年度の第2回指定管理者評価委員会で、利用者満足度の目標値が高すぎると、展示発案やイベント企画において、柔軟な対応や自由な発想が困難になるのではないかという意見があった。そこで、休館中にはこれまでの取り組みの改良や挑戦的な取り組みをしたいと考え、あえて数値を下げている。

南委員長：利用者満足度の数値はどのように算出しているのか。

指定管理者：来館者アンケートは質問に対して計4段階から評価するようになっており、その回答結果を用いて数値として算出した。

羽森委員：来館者アンケートはどのようなときに実施しているのか。

指定管理者：常設展・企画展・特別展や講演会等でアンケート用紙を配布・回収している

羽森委員：閉室や休館が予定されている今年度の利用者満足度の目標値は、現状設定している85%を採用したほうが、開館時にはできないような挑戦がしやすいと感じた。

南委員長：今回の意見を踏まえ、今年度の利用者満足度の目標値について、事務局で再検討してほしい。

事務局：承知した。事務局で再検討し、その結果を委員の先生方に報告する。

福光委員：弥生文化博物館のⅠ（４）「インターネットの活用」で、SNSの投稿目標数（110回）が昨年度目標（130回）から減っているが、休館中だからこそできる投稿をすることで、博物館の存在を認識してもらえないのではないか。

羽森委員：休館中にSNSで、来館者が普段見学できないところを公開してもよいのではないか。

事務局：承知した。両館の休館中におけるSNSの投稿内容や目標回数については、事務局で検討する。

羽森委員：近つ飛鳥風土記の丘の利用者目標が昨年実績よりも高い数値を設定されているが問題ないか。来園者層は来館者層と同じか。

指定管理者：休館に伴って、年間の博物館の来館者のうち、風土記の丘を通過して来館している人の分は減ると見込んでいる。地元の利用者は常にあるが、イベント等での利用者の増加を図りたいと考え、目標を昨年度実績より高く設定した。

（３） 弥生文化博物館及び近つ飛鳥博物館のⅢ

事務局より評価票（案）について、議事（３）を説明。

（意見等）

南委員長：Ⅲについて、意見はあるか。

川喜多委員、羽森委員、福森委員：異議なし。

南委員長：今回の意見を踏まえ、事務局で令和7年度指定管理運営業務評価票の内容検討・修正を進められたい。事務局でまとめたものを委員長が最終確認して成案とするということでよろしいか。（全員：異議なし）

<閉 会>